

東京亀城会々報

第31号

発行

平成23年5月31日



最上の流れにうるほふ里の
学び含みどりの希望はみちて
明るしや 清けしや
我らの園 我らの門
あしたに夕べに集ふ
手を引き助けて円かに睦みて
愛あり仁ある人とならん



ああ見よ鳥海七千餘尺
虚空に聳ゆる巨人の姿
黙示に学びてわれらの健児
六百並んで高きに向ふ



[第46回卒・桜満開の入学式]

平成23年度 東京亀城会 総会・懇親会

- ◎日 時 6月25日(土) 14時より
- ◎会 場 大手町サンケイプラザ(4Fホール)
- ◎担当年次 36回、46回、56回、66回卒業

東京亀城会ホームページ：<http://www.kijokai.net>

平成三年度

(平成二二年一月二七日)

平成22年度決算案
平成23年度予算案

平成22年度予算					平成22年度実績					平成23年度予算				
金 額					金 額					金 額				
収入の部	1	前	年	度	繰	越	金	1,929,332	1,929,332	1,483,849				
	2	年	総	会	会	費	1,000,000	970,000	1,080,000					
	3	各	種	会	合	費	840,000	720,000	840,000					
	4	寄	種	会	合	費	105,000	109,500	105,000					
	5	雑	報	収	入	付	240,000	214,736	180,000					
	7	報	告	掲	載	入	30,000	32,134	32,000					
	8	会	報	広	告	料	385,000	330,000	330,000					
		収	入	掲	載	計	2,600,000	2,376,370	2,567,000					
	合				計	4,529,332	4,305,702	4,050,849						
支出の部	1	会			議	会	費	12,000	16,030	13,000				
	2	総			会	費	1,332,500	1,070,233	1,052,900					
	3	各	種		会	合	費	105,000	87,490	90,000				
	4	同	期	会	発	足	支	20,000	0	0				
	5	母	校	支	援	委	員	活	0	100,000	0			
	6	通			信	會	費	450,000	454,825	480,880				
	7	印			刷		費	450,000	504,315	543,375				
	8	事			務		費	230,000	224,690	225,000				
	9	旅	費		交	通	費	40,000	0	5,000				
	10	振			込		料	50,000	47,070	48,050				
	11	渉			外		費	125,000	153,500	133,500				
	12	予			備		費	100,000	30,000	50,000				
		支	出				計	2,914,500	2,588,153	2,741,705				
		母	校	創	立	100周年	支	援	積	立	金	233,700	233,700	0
		次	年	度	繰	越	金	1,381,132	1,483,849	1,309,144				
						計	4,529,332	4,305,702	4,050,849					



～家族の生活空間である
『住まい』を大切に～

カムホームは、お客様毎の
暮らしの夢や現在の住まい
の課題を基に新しい住まい
づくりをお手伝いします。

～暮らしを考えた、住まいづくり～

カムホーム

酒田市大町6-12 TEL0234-26-6868

URL <http://www.hayashikensetsu.co.jp/>

林建設工業株式会社 住宅部

会長・同窓会長ご挨拶・母校報告

総会に向けて



東京亀城会会長
相川 俊明
(33回)

今年は、東日本大震災と福島原発事故に見舞われましたが、日本は現在その再建のために力強く立ち上がろうとしています。完全に復興するには一〇年後は掛かると言われていますが、一〇年後といえは母校が創立一〇〇周年を迎える頃です。

昨年の総会で母校創立一〇〇周年記念事業基金設立の承認を頂き募金を始めましたところ、お陰様で会員皆様のご協力で順調に集まっています。

また、「母校支援委員会」発足の承認も頂き、この二月に執行理事も加わって第一回委員会(委員長長谷部和良)を開催してスタートしました。同委員会の仕事は、前記基金の有効活用を協議すること、母校支援のために他に何ができるかを協議、実践することです。

この後者の具体的な内容については富士直志校長の要請もあって、卒業生の主に大学二年生を中心に「就活」よりも広い意味での後輩の将来のためになるようなつながりの場を設けてはという提案があり、そのやり方などについて協議中です。今年の総会に具体的なことを少しでも報告ができればと思っています。

皆様の御健勝を祈念致しますと共に日本再建のために頑張り抜きましよう。

ご挨拶



亀城同窓会会長
宗 雄司
(35回)

東京亀城会の皆様お変わりございませんか。今年も総会に首都圏の学生を招待されるとお聞きしております。学生諸君にとりて頼もしい心の拠り所になると思われ、ご配慮に心から感謝申し上げます。昨年は創立九〇周年の大きな節目を迎え、数多くのイベントが開催されましたが、愈々、今年は創立一〇〇周年に向つてのスタートとなります。

文武両道を掲げ、知・情・意・力の精神で六〇〇名の学生達は意気軒昂です。今春の大学進学の結果は学校側のご努力により、目を見張る程でした。一方、部活動も陸上競技、体操、剣道及びボート部等々好成績をおさめて私たちを喜ばせてくれました。

そして、私たちが五〇数年間も汗と涙を流してきた旧体育館も解体され、校舎もすっきり入れ替わった感じがございます。どうぞ酒田においでの際は、母校にお立ち寄り頂き往時を偲んで貰いたいと念願しております。

また、皆様様から寄せられた温かい協力金につきましては、母校の諸活動支援として有効に使わせて頂いており、誠に有難く心からお礼申し上げます。東京亀城会の益々のご発展と皆様のご健勝をご祈念申し上げ挨拶とします。

地震にも負けずに 頑張る酒東生



校長
富士 直志
(45回)

東京亀城会の皆様におかれましては元氣にご活躍のことと拝察申し上げます。

昨年度は、節目の創立九〇周年に当たり、様々な記念行事を開催いたしました。記念式典、祝賀会の他、記念誌の発行、記念品の配布などを行い、成功裡に終了いたしました。東京亀城会からもご出席頂きまして誠にありがとうございました。

また、同窓会総会の日には、東京在住で各界で活躍されている方々から在校生に向けて仕事の様子や励ましの言葉を頂戴しました。その講話を聞いた生徒は、素晴らしい先輩を誇りに思うと同時に将来を考える良い機会をつくって頂いたことに心から感謝申し上げます。

さて、さる三月一日に起きました東日本大震災では、皆様には大変なご心配をおかけしましたが、酒田は震度五弱と言うことでしたが、耐震構造の校舎はビクともしませんでした。また、国公立大学の後期試験で移動中の生徒も全員無事でした。

今後の復興が待たれる訳ですが、宮城亀城会の会員の皆様の安否が気になると思っています。

上野榮枝さんは、同窓の上の世代の方々にとっては、校長の息子さんという印象が強い。

「父親が校長だったからか、高校時代は真面目にしていました。共学になっ

「穀物相場は刻々と変動しますから、素早く状況を判断して決断することが求められます。また、誠実さや有言実行も重要です。相手から信用されなければ、いい穀物が手に入らないからで

あの前輩に会いたい！

上野榮枝 (26回)

インタビュー・文

佐々木亜希子

た年は、西校から来た勇敢な女子たちに刺激を受けたね(笑)」

上野さんは酒東卒業後、東大法学部へ進み、三井物産へ入社。公務員の道は考えなかった。

「終戦後、資源のない日本には経済、貿易しかないと思っていました。ある企業の社長だった叔父の『自分の才覚で生きろ。商売は面白いぞ』という言葉にも後押しされました」

三井物産では穀物部で、アメリカやアジア諸国からの穀物の買い付けを担当。その後は、トロント、ニューヨーク、オレゴン州ポートランド、テネシー州メンフィスと、穀物買い付けの責任者として、延べ二〇年間北米で過ごした。



す。いわゆる猛烈商社マンでしたが、自分の人生に後悔と失望はないですね」上野さんはまた、長いアメリカ生活で、日本人のあるべき姿を学んだ。

「東北人は特に、人はいいいですが、デイベート負けする。引込み思案ではダメですね。主張する時は主張しないと通じません。また、体裁を気にしないで、どんどん発言することです。自分の意見、見解を持ち、積極的に語れば、英語の発音が少々悪くても相手には伝わります」

帰国してからは、三井物産代表取締役常務を経て、三井製糖代表取締役社長に。持ち前のパワー、明るさ、ユーモアは、現役を引退してからも健在で、その個性で「ふれあい酒田」を一二年間引っぱった。

「適度の晩酌をやり、昔の仕事仲間とゴルフを週一回行のが、健康と若さの秘訣です(笑)」

最後に、在校生や後輩たちに一言助言を。

「父親の本棚の本や光が丘文庫の本などをよく読みましたが、もっと読んでおけばよかったなあと思っています。辞書を読むのもいいです。我が家の食卓の手の届くところには、国語や英和の辞典を置いて、辞書を引いたらその単語の解釈を全部読みます。熟語や言葉の使い方、ボキャブラリーなどが増えていいですよ」

この脳の若さが、体の若さにも繋がっている。

退職後の楽しみ

佐々木 猛 (37回)



佐々木 猛先生
元気だが

卒業生からの年賀状に定年退職の文字が散見されるようになった。もうそんな年になったのかと思ひ、古いアルバムを引っ張り出して眺めて見た。過ぎ去りし日々を思い出しながら暫く感慨に更ける。かく言う私は退職後七年目を迎えた。最初の年は船に乗り三カ月程遊び回っていた。しかし、次の年からは母の介護をすることになった。いろいろの場面で卒業生のお世話になり、人と人との繋がりを有難く感じている。時間ができると無性に本が読みたくなる。現役時代は時間的にも経済的にも余裕がなかった。しかし退職後は、円高とインターネットのおかげで自由に本が入るようになった。コタツの回りに本を積み上げ読みふけるような心地平線が広がって行くような気分になる。夜が更けて寝床に入り夢の中で続きを読む。体力保持のため週二回近くの水泳教室に通うことにした。速さを競うのではなくゆつくりと長く泳ぐのが目標である。健康に恵まれこのような静穏な日々がもう少し長く続いてくれることを願っている。

◆酒東NEXT100 プロジェクト

東京亀城会母校支援委員会

酒田東高の「一〇〇周年記念」に向けて、支援委員会を立ち上げました！進学しても就職の厳しい時代、母校の生徒や若手卒業生たちに先輩の我々が協力できる支援（ソフト）は何か、人生の先輩としての経験や人脈・会員相互のネットワークを活かし、若き後輩たちの要望にこたえられないかと考えています。

①東京亀城会先輩会員の皆様

後輩たちのために、様々な業界の専門知識、求人情報の提供や、社会人として役立つセミナーを開催していきたいと思っています。

まずは、経歴・資格・メールアドレス等各々のデータベースを作りたく、次のHPにアクセスしご協力をお願いいたします。

②就職活動中の酒東卒業生の皆様

下記HPにアクセスし、セミナー案内や先輩からの情報を受け取れるメールアドレスをお送り下さい。

こんな情報がほしい、こんな業界の話聞きたいなど、具体的な要望もぜひお寄せ下さい。

母校支援委員会事務局

伊藤 正治郎

TEL 〇三三三四六四一五三五六

FAX 〇三三三四六四一五三五六

酒東NEXT100ホームページ
<http://sakatonext100.jimdo.com>



スガワラ管理サービス株式会社 建物の清掃・設備の管理 代表取締役 菅原 幸夫 (四二回卒) 〒一七四・〇〇五六 板橋区志村一三〇一一九 板橋キヤッスルビル三〇一九 電話 〇三三五五八七五五四	元木徹法律事務所 弁護士 元木 徹 (昭和四二年卒業) 〒一〇四・〇〇六一 東京都中央区銀座一八八一六 井田ビル五階 電話 〇三三六四二九四八 FAX 〇三三三三五三五四三	遠藤登記測量総合事務所 所長 遠藤 功 (昭和四四年卒業) 〒一九〇・〇二二 立川市錦町二丁目一番五二一〇 電話 〇四一五二九一九三〇 FAX 〇四一五二九一八四四	高橋企画・編集事務所 代表 高橋 常昭 (四六回卒) 〒一九二・〇三六四 八王子市南大沢五九一四〇六 電話 〇四二六七五八〇九七 FAX 〇四二六七五八一八九五
---	--	--	--

23回

「七九歳」の
工学博士誕生

後藤 健

六月五日「うすけぼう」に一名が集まり、鈴木隆司君の学位取得祝賀会ということになった。「プロジェクト」を使って鈴木君の足跡を説明してもらった。石播入社油圧機器の設計を担当したが定年後に自立。現役時代に悩まされた潤滑油の劣化トラブルは潤滑油中の空気が原因と気付き、気泡で除去することを考えた。法大・田中教授と二〇年にわたる共同研究の結果開発した理論と実績を論文にして学位を得た。（法大の高齢者取得のタイ記録）



28回

二二年度
東京二八会

上野 正

筆者もコンプレッサーの潤滑油で悩まされた経験があり、有り難さが良く分かる。この技術は食用油や加工乳の泡抜きにも応用可能で「味落ち」防止にも役立つ。ニッチな分野で競争社がなく世界中から引き合いがあり飛び回っている。元氣な年寄りの鑑である。友人の消息確認や歓談後、例年通り相馬大作元応援団長の音頭で校歌と応援歌で氣勢を上げ散会した。

東日本大震災被害地皆様に心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と、皆さまのご健康をお祈り申しあげます。平成二二年度東京二八会は、三月三〇日アルカディア市ヶ谷で、桜満開の中総会を開催。市ヶ谷駅の外濠近く桜の名所で、一年ぶりまた数年ぶりの再会の人で、暫く顔を見合わせ喜び合いました。三四名の参加を戴き（酒田より数名）盛大に行なわれました。その後、懇親会で宴が盛りあがる中、席を互いに譲り合い、壇上では各自の近況、日頃の活動、情報交換を発表し、又、本年は喜寿の年となりますので健康を喜び合いました。最後に酒田東の校歌及び故郷の歌を斉唱、本年一年も会員各位の健康と今後ますますの発展を祈念し、また来年もお会いすること

31回

新宿「中村屋」で

眞田守之

を約束して目出度くお開きとなりました。二三年は四月四日に同じ場所で開催の段取りでしたが、大震災のため集合も大変であり、道義的にも本年は残念ながら取りやめとなりました。



「光陰矢の如し」、時流は年輪を重ね

るごとに、その移り変わりが早く感じられます。

今年も、亀城会の総会を迎える頃になりました。恥ずかしながら、三一会の活動は、最近低調そのものであり、大きな責任を感じて居ります。

しかし、これから何とか心機一転、「老いの浸潤」を押し止めるべく努めてまいりたいと思います。

三一会の総会は、会員である松本君が永く勤めた新宿の老舗「中村屋」で行っています。中村屋と言えば、昔から「新宿の御三家」（高野フルツパー・紀伊国屋書店）の一つとして知られ、またインド人のボースが伝えた純インド式カーリー・ライスとロシアの盲人の詩人エロシェンコのもたらしたロシア式ボルシチで有名なレストランです。

中村屋の三階に上がりロビーを覗くと、碌山（萩原守衛）の絶作「女」の像が眼に入ります。ここの創業者は、日本のみならず多くのアジアからの貧しい芸術家の卵達に、食住の面倒を見てあげた。育ちそして巣立っていった彼らは、深く恩義を感じて、成長した自分の作品を中村屋に献じたのです。だから、レストランには多くの優れた絵画や彫刻が飾られており、訪れる食客の眼を魅めてくれるのです。

三一会は、今年も新宿に集まり旧交を温める事になると思うのですが、更に機会を求めて、東京の粋な江戸文

化を味わい、さがみ野の新緑や紅葉の下を、胸を張り、腰を伸ばして歩こうと今から楽しみにして居ります。

一文の最後ですが、今回の東日本大震災に際して甚大な被害を受けられた方々に對し心からお見舞いを申し上げるとともに、不幸にもいとおしい家族から離れ、帰らざる人となった多くの犠牲者に対し、胸が張り裂ける思いの中に哀悼の意を表するものであります。

29回 歩こう会 百万歩達成

富樫弘喜

第三九回東京ふくの会総会は平成二年五月二二日二年振りの方や高知等遠方組七名を含め六二名がNHK青山荘に集合。還暦記念総会以降連続一五回五〇名以上の参加の記録を達成。恒例となった本部よりの土産は酒田銘酒でした。

平成一六年一二月二二日に発足した歩こう会、一〇月一三〜四日の那須岳・茶臼岳にて百万歩を達成。当初六名でしたが、回を重ねる度毎に増え一五名を越す月も度々。

毎月第三水曜日が定例で、忘年会は横浜中華街、新年会はグランドパレスも定着してきました。

「コーラスふくのかい」は結成一七年になります。恒例になった用賀クリスマスコンサートでは、クリスマスソ



100万歩達成記念

グのほか、「上を向いて歩こう」「ピリ―ヴ」などを披露し、更に今年二月には、「きんぷく&フォーフェスタ」に出演、酒田への想いを歌にこめて「夜明けの歌」や「雪の降る町を」等を熱唱しました。

東京ふくの会の有志も多数応援にかけて大いに盛り上がり、池袋西口の各種文化団体との交流にも貢献、ふろさと酒田のPRにひと役買った一日でした。

33回

酒東京燦々会

4組幹事長 鈴木義宏

東日本大地震で被災された方とご家族、友人、知人の皆さんに心からの哀悼と連帯の恁をおくります。

昨年十一月一日三日横浜中華街「萬珍樓本店」にて開催、当番幹事は四組。ふるさと酒田をはじめ、広島・大阪からも参加者があり、総勢四三名の盛会だった。古稀を過ぎても「マダガオテナノイランネー！」と意気軒昂。二〇一一年は一回目の干支。十一月一日に開催となれば、イイ数字が四回



も重なる目出度い事にはなるが、当番幹事は五組である。東日本大震災という未曾有の災害から力を合わせて立ち上がり、元気な顔でまた会おうではないか。フレッツフレッツサ・カ・ト！

がんばろう東日本！

がんばろう酒東！

がんばろう燦々会！

34回

みよし会佐渡ツアー

橋井嘉男

我がみよし会も結成二八年目をむかえた。平成二二年中の活動は新年会から始まり、上野公園での観桜会そして東京亀城会総会への参加、暑氣払い、毎会一〇名以上で友情を深めております。

八月三十一日新潟港集合二三名を乗せたフェリーは一路佐渡へ。

早速車座になり交流会、同友の阿部善郎さんが育てあげた「ただ茶豆」に舌鼓をうちながら二時間半の船旅もアツトという間でした。初日は両津泊まり、定番の二、三次会へと、翌二日目はバスで市内観光、「トキの森公園」ではトキと面会感激しました。

「浦島」という一風変わったホテル、でも出てくる料理は最高の味で、酒など飲むひまがなかった位です。

翌三日目は「たらい舟」と「佐渡ソバ」が美味でした。酒蔵店二軒で試飲、



年一回の佐渡祭り太鼓行列も見られ、佐渡汽船のガイドさんに感謝しつつジエットで帰路に着きました。「旅行反省会」「ふれあい酒田」に参集、この一月に新年会と多忙の中、二月小中高の同級井畑さんの訃報を知り愕然。

三月一日「東日本大地震」発生。私も含め親戚等が亡くなられた会員も多い。大震災で亡くなられた方々に、改めて深く哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈りする次第です。合掌

35回

「珊瑚たちのこれからは・・・」

藤平正信

私たち珊瑚の会は、昨年一〇月卒業

同期会・昨日 今日

五〇周年記念会を鳥海温泉遊楽里で開催、六〇名余りが全国から集いました。同時に、記念誌「珊瑚悠々」——古希を祝い、これからの人生を考える——も発行しました。

また、恒例の新年会を銀座「おぼこ」で開催、三〇名の珊瑚たちが青春帰りを楽しみました。この席に酒田から長澤俊樹君（浄徳寺）が駆けつけてくれました。冒頭乾杯の音頭を予定していましたが、大雪のため飛行機が遅れ閉会三〇分前の乾杯になりました。長澤



君にはいつもの冬ではない大雪の実態や心配な酒田の現況を報告してもらいました。（長澤君は二次会で慰労）

珊瑚たちは古希を過ぎ、生けるごとに喜ばれ、寿がれる年代に入ったことになりました。私たち珊瑚が肩を組み遠くまで到達するには、「古希」の語の典故となった杜甫の詩の終節のように、いつも自然で心おおらかであることが大切であると思います。

伝語す 風光、共に流転して、

傳語風光共流転

暫時 相賞して相違うこと莫れ、と。

暫時相賞莫相違

36回 山麓会、 今年は当番幹事の年

本宮正幸

今年は高校卒業五〇周年、東京亀城会総会・懇親会の当番幹事の年になります。三六年卒業の皆さん全員集合ですよ！ 二次会場も準備します。

首都圏支部は、昨年一〇月下旬に久松武宏ご夫妻と旅した思い出の新潟県当間高原を再度訪れました。ブナが見事な「美人林」は生憎の雨でしたが、紅葉と森林浴で爽快な気分になりました。酒田からは小山会長ご夫妻、名古屋から斎藤薫ご夫妻。総勢一三名が参加しました。

酒田の定例会は八月一五日にゴルフ会や鳥海山荘での懇親会など盛り沢山

の企画を考慮中。ご期待ください！

写真は、昨年一〇月の「当間高原美人林」の様子です。



37回 東京なかよし会

本間勝弥

この度の東日本大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

三七期東京なかよし会は夏、冬の年二回開かれており、昨年一二月一八日に第二三回が開かれました。

毎回同じようなものですが、各自簡単に近況報告をして、好きに飲んだり食べたりといくつかの輪が出来上がっては、また人が入れ替わってとおしゃ



べりが続きます。気兼ねの要らない仲間なのでいつも和気あいあい。時には初参加の飛び入りや久しぶりのメンバーが見えると大いに盛り上がります。会場は中井君のお世話で信濃町の銀行会館で続けております。会場が同じというのは大変わかり易く助かります。このように継続して開いてこられたのも世話役の方々の尽力に負うところが大変大きいですし、また忙しい中にも毎回参加続けてこられるメンバーのおかげです。

初めてのの方も遠慮せずに参加してく

ださい。いつでも歓迎いたします。

44回 樋渡登くん 逝去を悼む

いなほ会 佐藤豊喜

今年は桜を観る気になれない。三月二日には、我々「いなほ会」(昭和四四年卒の関東同期会)で主要メンバーの一人、樋渡登くん(都留文科大学教授、松山中出身、亀城会役員)を間質性肺炎という難病で失った。享年六〇歳。

かすかな記憶を辿れば、登くんは酒東ブラスバンドで「ほら吹き」をやっていた。いや違った。ホルンを吹いていた。わたしは田澤くん(県会議員)らと応援団で「逆風すさぶ」や「白熱の気」の歌にあわせてエールを我鳴っていた。「応援団は体力勝負だ」などと意味不明なことを言っては連日、体力づくりのために宮野浦の海岸まで走ったものである。しかし、「オース!!」と言って上下関係は、はっきりしていたが、ジェントルマンの集団たる酒東応援団に鉄拳制裁はなかった。

生前、登くんは古い、しかし亡くしたくない言葉を全国巡って採集していた。わたしには、無学な者を指すときの庄内弁「もんじゃね」は「文字がない」から来てるんだと教えてくれたが、これは彼一流のジョークだったのか。

登くんは一〇年ほど前から髭を伸ば

し始めたので、「いなほ会」の連中は口々に言ったものである。「よせよ。お前さんにチョビ髭は似合わないぜ。まるで学者みたいじゃないか」と。しかし、これは的はずれだった。その頃の彼は立派な国語学の学者になっていたのである。

こよなく日本酒を愛していた登くん。國學院大学の同級生によれば、彼が帰郷した折の土産は決まって一升瓶の初孫だったという。しかも二本。それを「呑めっちゃ呑めっちゃ」と言って振る舞ってくれたと言う。酒豪ではなかったが、酒好きで世話好きな人であった。来る春に樋渡登くんは、いない。しかし桜は咲く。今年の桜は観たくないと書いたが、やはり君と一緒に酒を酌み交わしながら桜を拝んでみたいものだ。

53回 石川一男君(酒東教諭・ 進路部長)を偲んで

進藤 弘

平成二三年二月一日、同期(53回)の石川一男君(酒東教諭、進路部長、亀城同窓会校内幹事長)が急逝した。数日後の二月二十七日には石川君と一緒に「東京マラソン」を走る約束をしており、二人でその日を指おり数えて楽しみにしていた矢先のとても信じられない、あまりにも突然の訃報だった。

持ち前のバイタリティーと人を惹き

つける明るさ、常に前向きな姿勢、石川君の生前の面影を偲ぶにつけ、親しい友人を失った悲しみと同時に、教育者として本当に惜しい人材を失った失望を拭いきれない。彼が酒東へ赴任してしばらく学校創立以来初の定員割れや進路実績の低迷など、母校は厳しい時代を経験した。「酒東は変わらねばならない」と危機感を抱いた先生達は全国の進路実績校を視察し、やがてベネッセ等で紹介され全国の高校が目指す酒東独自の新たな進路指導手法を確立、酒東は見事に「新生・酒東」として生まれ変わった。この「新生・酒東」への変革に対する石川君の果たした役割は大きい。日々一生懸命に、英語指導、進路指導、部活動（サッカー部）の指導、そして同窓会の校内幹事など、どんな仕事でも手を抜かずに取り組んでいた。帰宅後も難関大学の英語の入試問題傾向の分析など、自分の時間も惜しまず頑張っている姿はいつも頼もしくあり、友人として誇りに感じていた。新生・酒東の理念「知・情・意・力」へ向けた石川君のひたむきな努力や情熱は、同じ想いを共有してきた先生、生徒達によって受け継がれ、母校酒東はこれからも益々充実していくことであろう。石川君は我々の同期会（53回卒「ゴミの会」）の要であったことは言うに及ばず、東京亀城会としても会務運営の多くの場面で、亀城同窓会校内幹事としての彼の持ち前の機敏

なフットワークに負うところが大きかった。石川君の没後に公開された『卒業おめでとう』と題する進路部長通信No.162号が、彼の生徒へ向けた最後の言葉になってしまったが、その中には「・・・勉強あり、部活動あり、学校行事あり、友との交流あり、あなた方が、真剣に学習に向かう姿、懸命に部活動に打ち込む姿、楽しそうに学校行事に取り組む姿はいつもとても美しいと思つた・・・」との記述がある。石川君が卒業する生徒達に最後に贈ったその言葉と同じように、母校を愛し、生徒を慈しみ、そして家族や友人を大切にしてい、いつも何事にも一生懸命に取り組んでいた彼の姿はいつも輝くように眩しかった。いまだに無念の感拭えないが、石川君のご冥福を祈り、彼の生前の活躍に心より感謝したい。「一男、お疲れ様、そして、ありがとう」合掌

注・・・「新生・酒東」への変革については、石川君への特別インタビューを掲載した東京亀城会報第28号（平成20年5月発行）を参照下さい。

54回

梅咲く湯島天神にて 梧葉会

岡崎理香

五四年卒「梧葉会」は今年も例年同様、一月最終土曜日に開催されました。今年の参加者は一二名。「梅まつり」と、受験シーズンで込み合う「湯島天神」で待ち合わせ、それぞれの想いでお参

りした後、向かい側の重要文化財・旧岩崎邸を見学、その後御徒町の韓国焼き肉屋で一年ぶりの再会に盛り上がるというコースでした。

梅の花が咲き始めた湯島天満宮では、受験生と思われる参拝者と合格祈願の絵馬が目立ちましたが、私も息子と、併せて母校酒東の三年生たちの合格を祈願してお参りをいたしました。近年酒東は以前にも増して進学実績が好調と聞いております。後輩たちの頑張り、は私たち卒業生にとっても誇りです。どうか皆さんが希望する進路に進むことができまうように……。酒東創立一〇〇周年も近づいてきました。これを機に東京亀城会も在校生、卒業生への支援を考案中ですが、「酒東を巣立つ若人よ！愛あり仁ある人となり、世界とむすびて平和の日に立つ人とならん。」旧岩崎邸では昨年のNHK大河ドラマ「龍馬伝」が終わったばかりとあって、皆さん熱心に見学しておりました。幹事のタイムリーな選択でした。明治二九年の建築、維新から三〇年も経たない時期に建てられた豪華な西洋式建築に当時の財閥の生活を垣間見ました。おなかも空いてきたところで、本場韓国焼き肉コースで飲み放題。二時間では足りず、その後二次会へと流れていったのは言うまでもありません。普段は会えなくとも、会った途端に酒東生だったあの頃に帰った気分。同期とはそんなものなのです。

◆酒東柔道部 東京支部OB会

前会長 中山 誠 (35回)

昨年東京支部OB会の総会が都内の門前仲町で開かれました。故市原先生の熱い指導は我等OB会の脳裏に深く刻まれています。今回も当時の懐かしい思い出を演歌調で作詞してみました。

☆☆柔道一本勝負☆☆
我等青春 柔よく剛を

男五尺の 命を賭けりや
酒東根性 市原柔道

暴れ内股 秘策を胸に
意地を通して 連続技だ

汽車で通学 誰か知る
いつか黒帯 しめるぞきつと

頭が良さそうな 乙女の集団
駅のホームで 意識をすれば

恋が芽生えた 蜜カラ時代
心がときめく 俺たちよ



三 西の強豪 東の酒田
明日は勝ちたい 大技かけて

酒東健児は 市原柔道
汗がしみ込み 道着は重く

稽古重ねて むき出す闘志
一本勝負の 柔道部

◆気を引きしめる時

演劇プロデューサー・演出家
木山 潔 (36回)

今年『出番を待ちながら』(ノエル・カワード作)という芝居で各地を回っています。この芝居は、引退した老女優たちの慈善ホームでの生活をユーマラスかつ厳粛に描いた作品で、人生最終章を迎える人々へのオマージュ



『出番を待ちながら』の一場面

ユといったものです。巡演中にはいろんな事故が起ります。二月の中部・北陸の公演では、大雪のため移動バスが立ち往生したり飛行機が羽田に引き返したりと、かなり慌てました。

演劇公演には事故がつきものとかわかっていても、平穏な日々が続くといふ油断してしまいます。地震や津波は予期せぬ天災ですが、そのあとの再興のやり方如何によつて、明日の社会のたすまいが決まるでしょう。歴史は、つねに大事件によつて変革されてきたことを証明しています。明治維新や敗戦のあとのように。日本は今こそ真つ当に変らなければ、後の世代に大きな負担を与えます。

演劇人もまたノホホンとやっていられる状況ではありません。気を引きしめて誠実にやるしかないと思ひこめてこの頃です。

◆スペシャルドラマ 収録中

俳優 佐藤 輝 (39回)

東日本大震災で被害に遭われた皆さん、一日も早い復興を祈っています。頑張ろう東日本！

昨年一〇月の庄内町・響ホールでの朗読舞台『生きるよろこび』公演では、酒東三九会同期の仲間と同窓会庄内町支部の多くの皆さんにも応援していただきました。

テレビ出演が続いています。

著名オナーシェフのレストランを訪ねてそのスペシャリテを味わうBS日テレの人気番組『スペシャリテ紀行』に昨年九月、ゲスト出演。鶴岡市にあるアル・ケッチァーノの奥田シェフを訪ねて、庄内地方の食材と食文化を美しい風景と共に全国へ発信しました。

今年二月は『水戸黄門』に出演。善

亀城人往来



「水戸黄門」奈良・大和郡山城口ケで、岡崎六右衛門役の佐藤輝。

良な番頭役が多かったのに今回は悪役組。でも好人物で、御老公を探し回る四国丸亀藩の用人岡崎六右衛門役が好評でした。
現在は九月に放送が予定されている二時間スペシャルドラマの収録中です。乞うご期待！

◆6月25日 懇親会イベント

○宮下洋 バリトン独唱
ピアノ伴奏 宮下朋樹
シューベルトの歌曲集「冬の旅」より
「かじかみ」
「菩提樹」
「あふるる涙」



桐朋学園大学卒業、同研究科終了後、ドイツハノーヴァ音楽大学卒業、モーツァルテウム音楽大学修士課程修了。数多くのリサイタルにピアニストとして出演。宝塚ベガコンクール第二位、オスロリーグ国際ピアノコンクール特別賞。日本ピアノ教育連盟、西宮音楽協会会員。武庫川女子大学専任講師。神戸女学院大学講師。

宮下朋樹 略歴

○宮下朋樹のピアノ独奏
グリーグ作曲「抒情小曲集」より
「春に寄す」
「家路」
「トロルハウゲンの婚礼の日」
ドイツリート・日本歌曲のリサイタル三回開催。東京室内歌劇場等の「ヘンゼルとグレーテル」「カルメン」「白雪姫」「フィガロの結婚」「魔笛」等に出演。東京J・S・バッハ合唱団のバリトン独唱者として「ヨハネ受難曲」「ベートーヴェン第九、モーツァルト「レクイエム」等多数出演。
桐朋学園短期大学部音楽科助教授、私立高校・公立中学校音楽教諭、教頭、校長、全日本音楽教育研究会常任理事を歴任し、世田谷区や船橋でも幅広く音楽の指導に当たっている。

宮下洋 略歴

昭和三三年卒 酒田東高校 東京燦燦会 代表 相川俊明 連絡先 阿部尚記 TEL/FAX 〇三―三九四八―二三九〇	酒東昭和三二年卒業 東京亀城会総会で会いましょう。(六月二五日) 関東三二一会総会に参加しよう。(二月) 関東三一会 有志一同 連絡先 眞田 守 之 自宅 (〇四二)七四六―三〇八九	昭和二九年卒 酒田東・西高校 東京ふくの会 連絡先 本間 英生 自宅 〇四八〇(三三)四〇三七	昭和二八年卒 酒田東・西高校 東京二八会 会長 金山義雄 事務局 松戸市小金原七―十一―二 五十嵐 昌士 〇四七―三四五―四〇八四
---	--	--	--

平 田



◆里山の魅力を情報発信！

東日本大震災で被災されました皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

このたび、平田総合支所では、平田の持つ自然・伝統・文化などの地域資源について広く情報発信しようと、「里山平田ガイドマップ」を作成するとともに、「里山平田ホームページ」を開設しました。

近年、注目度が高まっている「里山」の魅力をPRし、楽しみ方などを紹介することで、里山ファンの増大と、中山間地域の活性化につなげたいと考えています。ホームページでは、アクセスした時に、ほんとに和む四季折々の風景や観光、イベントのほか、庄内刺し子などの情報を発信しています。平田にまた行きたい！と思っただけできるよう、内容の充実を図ってまいりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.satoyamahirata.jp/>
(平田総合支所長 齋藤啓一)

八 幡



◆癒しのスポット「玉簾の滝」

八幡地域の最近の一番の人気スポットは升田地区にある「玉簾の滝」です。落差63m、幅5mの県内随一の規模を誇り、断崖絶壁から、しぶきをあげて落下する水の様子は豪快そのもの。迫力満点です。また、四季折々に様子を变え私たちに癒しを与えてくれています。春・夏・冬と年3回夜間ライトアップを行っており、お盆には毎年音楽フェスティバルを開催し、県内外から多くの観光客が訪れています。東日本大震災のため、当初ほとんどのイベントは中止されましたが、ライトアップは開催の方向で準備を進めています。

今回の地震では自然の驚異を思い知らされましたが、私たちは日々自然に恵みを受け暮らしています。そのことを肝に銘じ、被害の少ない酒田から被災地へパワーを送り続けたいと思っています。

(八幡総合支所地域振興課 池田裕子)

松 山



◆荻野流砲術 おぎのりゅうほうじゅつ

(酒田市指定無形民俗文化財)

毎年5月1日に開催の松山まつり。その日の目玉が、荻野流砲術の演武です。

1868年の戊辰戦争で活躍した砲術隊は、敗北後その姿を消しました。その後、時を経て平成2年に復活の構想が浮上、以降有志により準備が進められ、平成10年5月1日の松山まつりの日に火縄銃6丁による演武を披露し、復活となりました。現在は、火縄銃15丁、大筒1丁、短筒2丁で、毎年5月1日に里仁館グラウンドで演武を披露しています。

また、市町合併後は、5月20日の酒田まつりの開始の号砲としても、市役所前で広く市民や観光客の方々に披露させていただいております。

両方のまつりにぜひお越しください。
(松山総合支所地域振興課 五十嵐昭一 53回)

代表取締役 会 長 染谷英雄 (昭和三十五年卒業) エレクトロニクス部品総合商社 株式会社 栄 電 子 〒一〇一・〇〇二一 東京都千代田区外神田二一九一〇 電 話 〇三三三八五七二四〇 FAX 〇三三二五五七八〇一	理事長 真坂信夫 (昭和三十三年卒業) 医療法人社団衛生会 真坂歯科医院 世田谷区奥沢五丁目二六番九号 自由ヶ丘栄ビル3階(自由ヶ丘駅南口前) 電 話 〇三三三七七八 八四七〇 FAX 〇三三三七七八 九一九	丸 藤 宏 (昭和四〇年卒業) 丸藤宏司法書士事務所 〒一〇一・〇〇五一 東京都千代田区神田神保町二二〇 アイエムビル3F 電 話 〇三三三三六 八〇四〇 FAX 〇三三三三六 八〇四三	相川・田中法律会計事務所 弁護士 相川俊明 (昭和三十三年卒業) 東京都新宿区四谷一〇九 有明家ビル6F 電 話 〇三三三三三 四六三八 FAX 〇三三三三三 四三三八
--	---	--	--

酒田



◇今年は飛鳥！

飛鳥は、周囲約10.2km、面積2.7km²の小さな島。漁業、観光面で宝の島であることは皆さんご存知と思いますが、意外と知られていないのが農業でも魅力の島ということです。

例えば、飛鳥産のゴドイモ（じゃがいも）、タマネギ、ニンニクは、本土のものとはひと味も、ふた味も違うこと。そのおいしさの秘密は、北海道に似て夏が涼しく、雨が少ないからとか？（注）ゴドイモの語源は、煮た際とか、定期船で運ぶ時に音が「ごとごと」したからとか言われています。また、青菜やネギ、今では山形にしか原種がないという天保年間のそば（天保そば）の採種地です。何故採種地かと言えば、それは離島だからこそ純粋な種が採れるからです。

ここで飛鳥に係る話題を。①昨年7月に新定期船「とびしま」は就航時間が15分短縮され75分、乗り心地も大幅アップ②2年前に小学校が開校、この4月には8年ぶりに中学校も再開③農業振興と秋の彩り

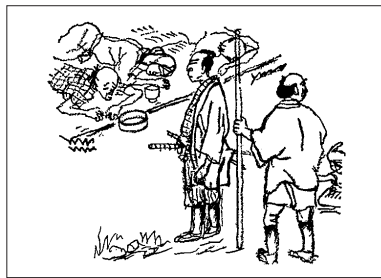


のため知事の発案で試験栽培されたスダチなどの柑橘類の花が今年は観られるらしい④全日本国際酒類振興会の春季コンクールで3位に入賞したゴドイモ焼酎「飛鳥」。ほのかな香りとさらっとした口当たりの新酒がもうすぐ販売。

さて、今年の飛鳥はおいしくて面白い。7月上旬にはツールドTOBISIMA（自転車レース）の他、先日私たちがボランティアで植えたゴドイモが7月末には収穫です。ぜひ、ボランティアによる収穫に参加してはいかがでしょうか。余談ですが、作業後の夜のアワビ、サザエ、旬のカニ、イカ、アラメが絶品でした。5月には大陸に向かう珍鳥・迷鳥などの野鳥観察が楽しめるほか、運がよければ定期船をイルカがお見送り。トビシマカンゾウ、トビウオ、イカの塩辛など紹介したいものが盛りだくさんです。いつでも最高の島が皆様をお待ちしております。

（酒田市農林水産部長 白崎好行 49回）

遊佐



◇先人の歴史に学ぶ一諏訪部祭一

「遊佐町四大祭（よんだいさい）」といっている町の歴史の中で業績のあった4人の偉徳を偲ぶ祭を毎年行っていますが、その中の一つに遊佐郷の代官、諏訪部権三郎の業績を顕彰する諏訪部祭があります。

ふるさとの山「鳥海山」、この大いなる山を中心とした地域が、文化元年（1804年）大地震にみまわれました。遊佐郷では9割以上の家が倒壊するという非常に大きな災害となりました。

遊佐郷の代官、諏訪部権三郎は食べるものもない村人の窮状を見て、藩の許しを得ないまま藩の管理する蔵（郷蔵）の米を村人に分け与えるという大英断をしました。このことで村人は次第に元気を取り戻し、泥沼のような田畑を耕し、数年をまたずして復興することができたと伝えられています。

今まさに大災害に遭遇する中、復興を成し遂げた歴史に学ぶ諏訪部祭が、今年も町内本願寺で5月15日に行われます。

（遊佐町教育課長 菅原聡 49回）

東京電城会会報第三十一号

○発行 二〇一一年五月三十一日

○発行者 相川俊明

○編集人 元木 徹

○編集 佐々木亜希子

○発行所 東京電城会

東京都中央区銀座一丁目八六

井門銀座一丁目ビル五階

元木徹法律事務所内

○問合せ 高橋常昭

☎〇四二・六七五・八〇九五

☎〇四二・六七五・八一九五

BIPOS

バイポス

美しさを情報伝えます！
コストダウンでサポート

汎用機・WS・PC・WPのデータを自在に編集・加工
オンデマンドシステムで対応
情報処理のビジュアル化をフルサポート
最短の時間と最小のコストをお約束

印刷の
事なら

株式会社 文栄社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-15-4

☎ (03) 3662-1951 FAX (03) 3661-9735

http://www.bbe.ne.jp E-mail: bunei@bbe.ne.jp

一級建築士
専攻建築士

丸藤

晋

（有）工房庄内
一級建築士事務所

（四六回等）

〒九九八・〇八四三
山形県酒田市千石町一七二八
電話 〇二三四・二五八一五〇
FAX 〇二三四・二五八〇四〇

平成23年度 総会・懇親会のご案内

楽しく魅力のある東京亀城会の和

三月十一日、観測史上最大の震度九を記録した東北・関東地方太平洋沖の大地震の発生により多くの人命や、家屋、財産が失われました。被災された皆さまには心からお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方々には深く哀悼の意を表します。

平成二三年度 総会・懇親会のご案内

今年度の総会は末尾が「二六」の付く年次が当番幹事です。一〇年に一度の幹事役は、同期や幹事年同志の旧交を大いに温め合えます。今回会場は、ゆつたり語り合え、料理も評判のサンケイプラザ四階ホールに替わりました。席順は受付で抽選で決め、年次混合でふれ合っていたいただきます。新卒学生には各テーブルに混じって貰い、先輩と将来の夢や思いを大いに語らうていただき、何かしらの参考にして貰えたらと思います。

イベントは、三六回卒の宮下洋氏によるバリトン独唱、宮下朋樹ピアノ独奏

日時：六月二十五日(土) 一四時より

会場：大手町サンケイプラザ

四Fホール

東京都千代田区大手町 一七二

電話：〇三三二七三二二五八

懇親会費：会員八、〇〇〇円

学生二、〇〇〇円

イベント：宮下洋氏によるバリトン独唱

宮下朋樹ピアノ独奏



■地下鉄 丸の内線・半蔵門線・千代田線・東西線・都営三田線
■J R 大手町駅下車A4・E1出口直結
東京駅丸の内北口より徒歩7分

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2
Tel:03-3273-2257~9 (直通)

酒田東高等学校 昭和三六年卒 有志一同 山麓会 我が集う ここにあり、集まろう 毎年 八月一日 於 ベルナール酒田	昭和三四年卒 酒田東高校 有志一同 東京三四会	昭和三五年卒 酒田東高校 有志一同 東京珊瑚の会	EPSON EXCEED YOUR VISION EPSONブランドを支えるもの 最先端テクノロジーと ものづくりへの熱いまなざし  東北エプソン株式会社 酒田市十里塚166-3 Tel.0234-31-3131 (代) http://www.epson.jp/tohoku/epson/
昭和五四年卒 酒田東高校 有志一同 梧葉会 連絡先 阿部浩美 電話 〇四八(四六七) 二二八二	昭和四六年卒 酒田東高校 有志一同 酒東「巽会」 連絡先 高橋常昭 電話 〇四二(六七五) 八〇九七 FAX 〇四二(六七五) 八一九五	昭和五三年卒 酒田東高校 有志一同 東京ゴミの会 連絡先 工藤久美 電話 〇三三(三四五三) 七二八三 FAX 〇三三(五四三九) 九〇九一	